

秋の三登山トレッキング開催

秋の三登山トレッキングが、11月3日文化の日に開催されました。当日は曇り空で参加者26名と例年よりは少人数でしたが、①山城～三登山コースと②三登山髷山コースの2コースに分かれ、午前8時10分に支所を出発しました。

ちょうど紅葉が木漏れ日に照らされ、黄色や赤のコントラストがとてもきれいでした。足元を見ると、ムラサキシメジ・栗タケ・ジゴボ等、そして倒木にはムキタケ(カタハ?)と秋の味覚を袋にいっぱい取る方もおり、ビューポイント髷山山頂では、善光寺平がよく見え秋の登山を楽しめました。①一般コースは、13:30頃には下山、②健脚コースも14:30には下山し、それぞれの方に登山を楽しんでいただきました。

三登山トレッキングコース愛護会では、皆さんに登山を楽しんでいただくために、登山コースの整備を年3回行っています。ぜひ、三登山トレッキングコース愛護会の会員になっていただき、三登山の自然を守り、安全で楽しく登山を行うため、コース整備やイベントに参加いただける方を募集していますので、よろしくお願いたします。(会長 青木秀樹)



「介護の集い」が開催されました

11月7日、若槻コミュニティセンターにおいて「介護の集い研修会」を、福祉健康部・区長部・民児協・老人クラブ及びはつらつクラブ各代表の方々にご出席をいただき開催いたしました。

「認知症を学び、地域で支えよう」とのスローガンのもと、長野市地域包括支援センター若槻ホーム様より講師をお迎えし、施設



長 渡辺様の講演を聴き、認知症の理解を深めました。

家族が認知症になったら、自分が認知症になったら、介

護の「悩み」「相談」はどこに？

といった不安などを具体的にDVD映像を通して学ぶ事ができ

ました。また、認知症の病気にも触れていただき、脳の状態、認知症を引き起こす病気についても教えていただき、知識を広げるよい機会となりました。

介護する人・される人がつらく悲しい思いをする事がなく、行政とのつながりを正しく知り、地域での支えあい、健康づくり活動を通じて安心とあたたかい協力の輪をこれからも広げていけたらと強く感じました。

皆さまには、ご多忙の中ご出席いただき、ありがとうございました。(福祉部会)



「環境施設見学会」が実施されました

さる11月10日(水)、「長野市内の環境施設を視察して環境意識の高揚を図る」ことを目的に、区長部(環境美化担当)の16名で「ながの環境エネルギーセンター」と「資源再生センター」を視察しました。

今回の視察研修では、ごみ集積所から最終処分場まで、家庭ごみを処理するのに大規模な処理施設、それに膨大なエネルギーと人的稼働を使っていることが実感できました。



特に印象に残っているのは「資源再生センター」で職員の方

が、「黄色のプラスチック製容器包装指定袋は「ごみ袋」ではないです、資源なんです、材料なんです!!!」と強調していたことでした。この黄色の指定袋にフライパン、包丁、鍋等の金属類を入れて出す人が実際にはいるんですね。それが山のようになっていました。これには正直びっくりしました。リサイクルに適さないものは、結局は人の手作業によって取り除いていました。

今回の視察研修では、ごみの出し方の基本ルールを最低限守ることが大切だと、つくづく実感しました。(区長部)

